

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3176579号
(U3176579)

(45) 発行日 平成24年6月28日(2012.6.28)

(24) 登録日 平成24年6月6日(2012.6.6)

(51) Int.Cl.		F 1	
A 4 1 D 13/008	(2006.01)	A 4 1 D 13/00	F
A 4 1 D 13/00	(2006.01)	A 4 1 D 13/00	B
A 4 2 B 3/04	(2006.01)	A 4 2 B 3/04	

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2012-1707 (U2012-1707)
 (22) 出願日 平成24年3月8日(2012.3.8)

(73) 実用新案権者 598090748
 鈴木 安雄
 静岡県駿東郡清水町長沢734番地
 (72) 考案者 鈴木 安雄
 静岡県駿東郡清水町長沢734番地

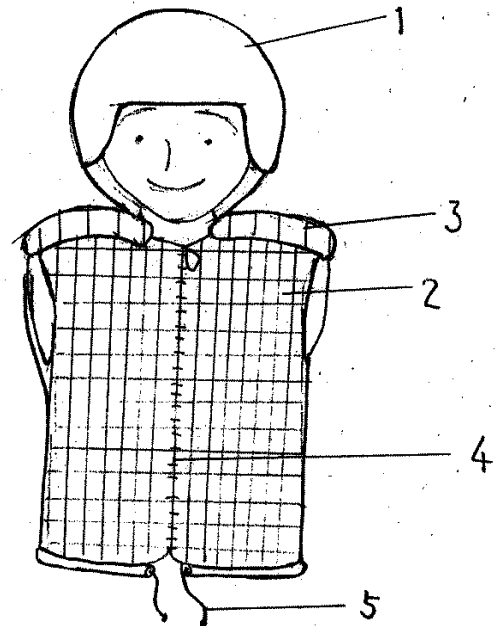
(54) 【考案の名称】 浮遊式ヘルメット一体の浮く衝撃吸収ライフジャケット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】動きやすく、かつ蒸れなく、また水に浮くヘルメットと一体構造のライフジャケットを提供する。

【解決手段】発砲スチロールや発泡ウレタン等の浮遊素材を布等であるで作られたヘルメット1と、同素材を使用し、小さなブロックをつくり、そのブロック一つ一つを布等であるでくみ、更にそのブロックを縫い合わせ又は圧着し、浮遊式衝撃吸収ライフジャケット2をつくり、更に前記したヘルメット1の布部分と当該ライフジャケット2の布部を縫い合わせ又は圧着して一体化する。一体化された浮上式ヘルメットと浮上式ライフジャケットは津波等の際、身体を浮上させるとともに、頭部と身体を障害物等と衝突した際の衝撃から守り、更にライフジャケット1を浮上物質とすることにより、浮上物質のすき間から空気が入るので、蒸れなく活動もしやすいことを特徴とする。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

発砲スチロールや発泡ウレタン等の浮遊素材を布等で作るんで作られたヘルメットと、同素材を使用し、小さなブロック 7 をつくり、そのブロック一つ一つを布等 8 でくるみ、更にそのブロックを縫い合わせ又は圧着 9 し、浮遊式衝撃吸収ライフジャケットをつくり、更に前記したヘルメットの布の部分と当該ライフジャケットの布部を縫い合わせ又は圧着して一体化したことを特徴とする浮遊式衝撃吸収ライフジャケット。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、浮遊式ヘルメットと一体となった素材が水に浮くセパレート構造の衝撃吸収ライフジャケット

【0002】

津波の時、水に巻きごまれ、水面に浮上することが難しく、水死したり、更に、がれきや障害物と激突し、その衝撃でけがをしたり、死亡してしまったりした。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

従来のライフジャケットは、全体が一体化されていて非常に動きにくく、身体に接する面が広いため、蒸れてしまった。又身体は浮いても頭部が瓦礫や落下物等の障害物から守られず、頭部の保護対策はヘルメットをかぶる以外になく、従来のヘルメットは浮力がなく、水没してしまっ

【課題を解決するための手段】

【0004】

本考案は発砲スチロールや発泡ウレタン等の浮遊素材を布等で作るんで作られたヘルメットと、同素材を使用し、小さなブロック 7 をつくり、そのブロック一つ一つを布等 8 でくるみ、更にそのブロックを縫い合わせ又は圧着 9 し、浮遊式衝撃吸収ライフジャケットをつくり、更に前記したヘルメットの布部分と当該ライフジャケットの布部を縫い合わせ又は圧着して一体化する。一体化された浮上式ヘルメットと浮上式ライフジャケットは津波等の際、身体を浮上させるとともに、頭部と身体を障害物等と衝突した際の衝撃から守り、更にライフジャケットの浮上物質をすることにより、浮上物質のすき間から空気が入るので、蒸れなく活動もしやすいことを特徴とする。

【考案の効果】

【0005】

津波の際、水から浮上するとともに、ヘルメットと一体化されたライフジャケットが瓦礫や障害物と激突した時の衝撃から身体を守る。又、ライフジャケットの浮遊素材は、3cm ~ 25cm 角程度に裁断された発砲スチロール又は発泡ウレタン等を持ち、この素材を布等にくるんで、その布部分を縫い合わせ又は圧着することにより、縫い合わせ又は圧着部のすき間から空気が入るので蒸れなくなる。

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図 1】本考案の浮遊式ヘルメットと一体型セパレート式ライフジャケットの実施例を示す正面図である。

【図 2】本考案の浮遊式ヘルメットと一体型セパレート式ライフジャケットの側面図である。

【図 3】本考案の浮遊式ヘルメットと一体型セパレート式ライフジャケット部分の背面図である。

【図 4】本考案の布等で作るんだ浮遊素材縫い合わせ又は圧着する部分の断面図である。

【本考案を実施する為の形態】

【0007】

10

20

30

40

50

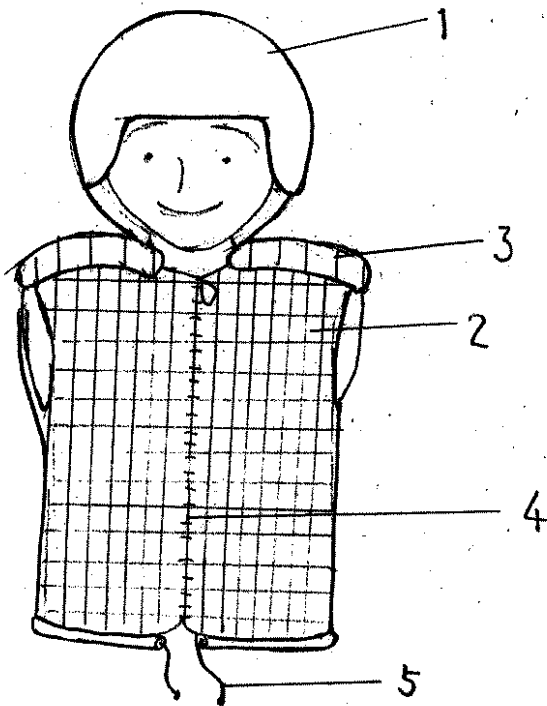
発砲スチロール又は発砲ウレタン等の素材で作られたヘルメットを布等にくるみ、水に浮く衝撃吸収ヘルメットを作り、また当該と同素材を3～25cmに裁断し、布でくるんで縫い合わせ又は圧着して通気性のある行動しやすいライフジャケット作る。このライフジャケットの首に当たる部分の素材は15cm～40cmと使用する年齢や体重によって異なる。更に前記したヘルメットとライフジャケットの布等の部分を縫い合わせ又は圧着して一体化し、水難時に身体を水上に浮かせると同時に障害物等と激突した際、その衝撃を和らげ、頭部と上半身をその衝撃から守るヘルメット一体型のライフジャケット。

【符号の説明】

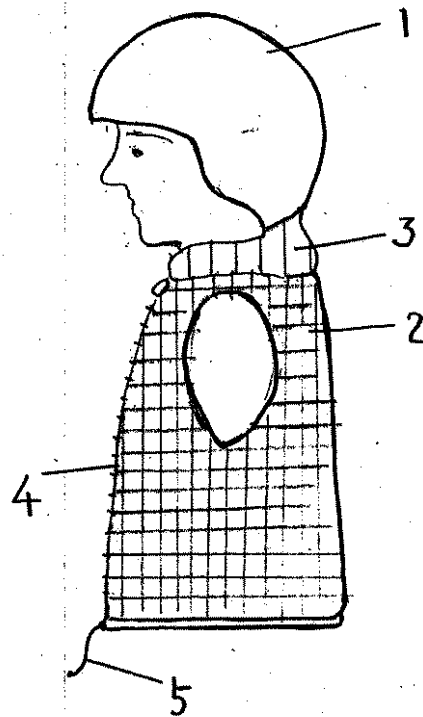
【0008】

- | | | |
|----|---|----|
| 1 | 発砲スチロールや発砲ウレタン等の浮遊素材を布等で覆って作ったヘルメット | 10 |
| 2 | 発砲スチロールや発泡ウレタン等の浮遊素材を小さなブロックにし、布でくるみ、つなぎ合わせてるように縫いこんだライフジャケット | |
| 3 | ライフジャケットの一部で首周り部分を大体积の発砲スチロール又は発泡ウレタン素材で縫い込んだ部分 | |
| 4 | ジッパー | |
| 5 | 閉めひも | |
| 6 | あごひも | |
| 7 | 発砲スチロール又は発砲ウレタン等の浮遊素材 | |
| 8 | 浮遊素材をくるむぬの等 | |
| 9 | 浮遊素材をくるんだ布等を縫い合わせ又は圧着した部分 | 20 |
| 10 | ヘルメットとライフジャケットの布等の部分を縫い合わせ又は圧着した部分 | |

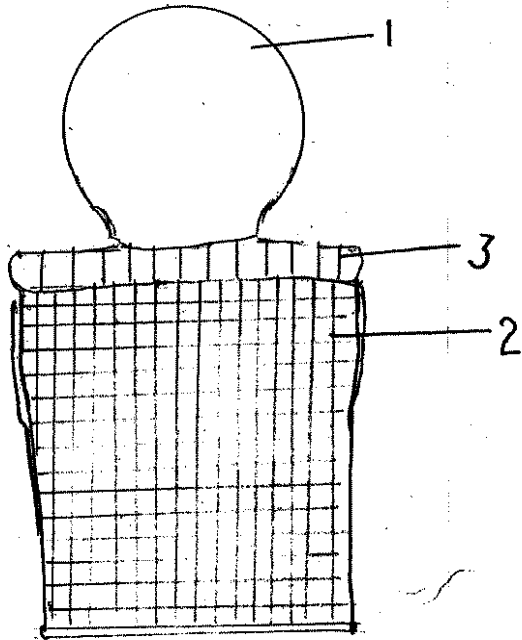
【図1】



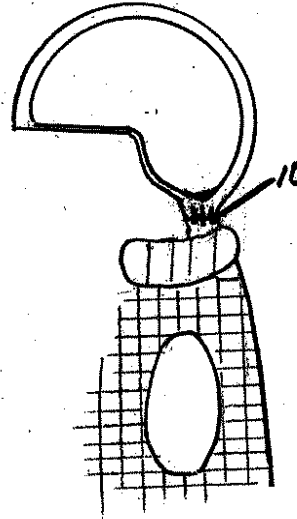
【図2】



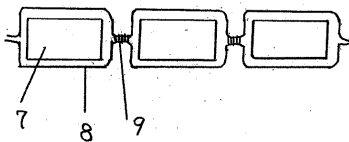
【図3】



【図5】



【図4】



【手続補正書】

【提出日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【図1】本考案の浮遊式ヘルメットと一体型セパレート式ライフジャケットの実施例を示す正面図である。

【図2】本考案の浮遊式ヘルメットと一体型セパレート式ライフジャケットの側面図である。

【図3】本考案の浮遊式ヘルメットと一体型セパレート式ライフジャケットの背面図である。

【図4】本考案の布等である浮遊素材を縫い合わせ又は圧着する部分の断面図である。

【図5】本考案の浮遊式ヘルメットとセパレート式ライフの縫い合わせ部分の断面図である。